



大阪ガス

ガス 赤外線ストーブ

取扱説明書

43-421/422

43-521/522型

保証書付

型式 R-452P-201, R-452P-202

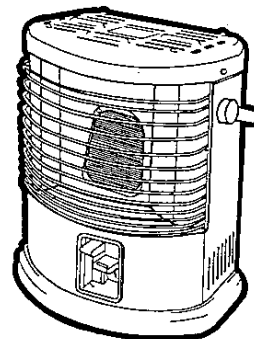
R-652P-201, R-652P-202

大阪ガスビルサービスセンター 支社所在地および電話番号

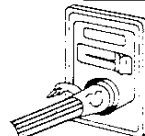
南支社 ☎557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号 ☎大阪06(652)0001
 北支社 ☎532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号 ☎大阪06(301)1251
 堺支社 ☎590 堺市住吉橋町2丁目2番19 ☎堺0722(38)1131
 北摂支社 ☎569 高槻市藤の里町39番6号 ☎高槻0725(71)0381
 阪神支社 ☎662 西宮市和上町4番11号 ☎西宮0798(26)3101
 東部支社 ☎578 東大阪市稲葉2丁目3番17号 ☎河内0729(62)1131
 京阪支社 ☎573 枚方市西田宮町16番17号 ☎枚方0720(41)1251
 神戸支社 ☎650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号 ☎神戸078(576)5231
 京都支社 ☎604 京都市中京区烏丸御池榎屋町358 ☎京都075(231)8151
 奈良支社 ☎631 奈良市学園北2丁目4番1号 ☎奈良0742(44)1111
 和歌山支社 ☎640 和歌山市本町1丁目5 ☎和歌山0734(31)2401
 姫路支社 ☎670 姫路市神屋町4丁目8 ☎姫路0792(85)2221
 東播支社 ☎675 加古川市加古川町兼津29-1 ☎加古川0794(21)1801
 豊岡支社 ☎668 豊岡市三坂町6丁目57番地 ☎豊岡07962(3)2221
 湖南支社 ☎525 草津市追分町宇荒堀680の1 ☎草津0775(62)5311
 彦根支社 ☎522 彦根市大塚町12-11 ☎彦根0749(22)3131
 (長浜営業所) ☎526 長浜市南兵衛町3番4号 ☎長浜0749(62)7171
 本社ガスビルサービスセンター ☎541 大阪市中央区平野町4-1-2 ☎大阪06(202)2221

大阪ガス株式会社

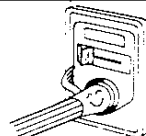
850800



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
ガッチリ!



ガス器具を
お使いになっ
たあとは必ず
ガス元栓も
閉める習慣を



30分に1回
1分間程度



ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

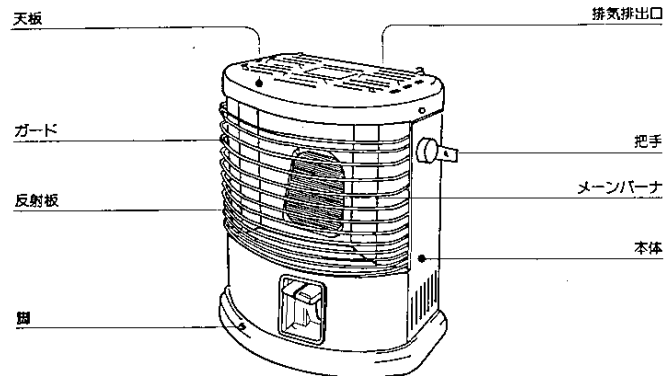
このたびは、大阪ガスのガス赤外線ストーブ
をお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」
を大切に保存してください。

もくじ

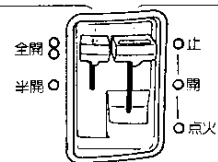
- 各部の名称..... 1
- 特に注意していただきたいこと..... 2
- 器具の設置..... 8
- 使用手順..... 10
- 使用時のご注意..... 13
- 日常の点検・お手入れ..... 14
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 16
- アフターサービスのお申し込み..... 17
- 長期間使用しない場合..... 18
- 特長..... 18
- 寸法図と仕様一覧..... 19

各部の名称



火力切替レバー

「全開」「半開」の火力切替を
するためのレバーです。



点火レバー(器具栓)

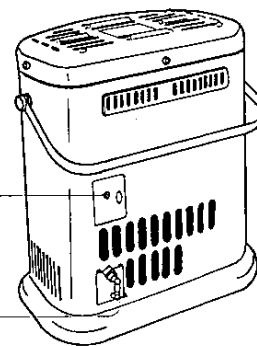
点火、消火をするた
めのレバーです。

点検蓋

この蓋をあけて空気口に
たまったホコリを掃除し
てください。

ゴム管口

ゴム管の接続口です。



(ご注意)

ゴム管口のキャップは使用時にははずしてください。

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているか確かめてください。

（銘板）

メーカー型式

ガスの種類およびグループ

ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

- 都市ガス
6C・6A用
- 都市ガス
13A用
- LPガス用

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
- 転居される場合には、部品の交換や調整が必要となります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

用途についてのご注意

- 暖房以外の用途（洗たく物の乾燥、なべややかんのせるなどの調理）には使用しないでください。

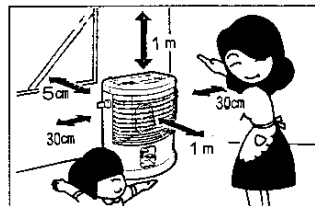


特に注意していただきたいこと②

使用場所についてのご注意

- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。

後の壁から5cm、横の壁から30cm、前方および上方1m以内に家具、建具などのない安全な正しい位置を選んでください。

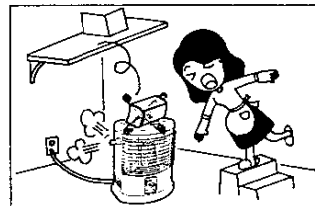


- 部屋の出入口など人の通るところや強い風の吹き込むところでは使用しないでください。

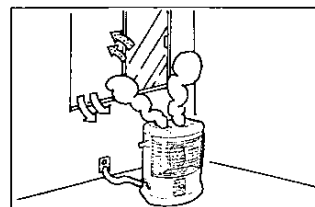
風で吹き消されたり、やけどや転倒の危険があります。



- たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



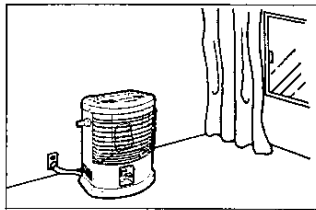
- 換気（給気、排気）が、じゅうぶんできる場所に設置するか、換気できるようにして使用してください。



特に注意していただきたいこと③

- 器具の設置はお部屋のガス元栓近くをお選びください。

ゴム管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりして、ストーブをひっくりかえすおそれがありますので、できるだけ、ガス元栓の近くに設置してください。

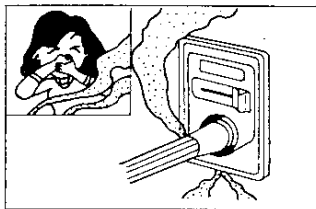


使用上のご注意

ガス漏れ予防

- ゴム管は良質のものを買い、使用3年位を目安にとりかえてください。

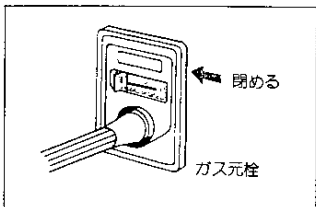
ゴム管が古くなりますと、ガス元栓や器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れてガス漏れの原因になります。



- ゴム管は、ガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。

ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。

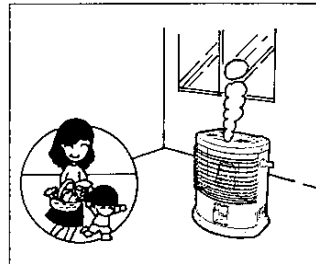
- 器具をご使用にならないときや、外出前またおやすみ前には、万一の事故がないように必ずお部屋のガス元栓をしめてください。



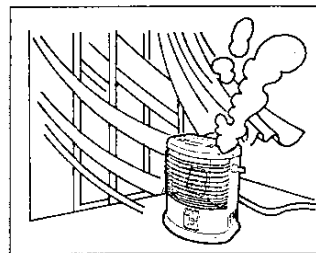
特に注意していただきたいこと④

火災予防

- ストーブをご使用中は決して外出しないでください。



- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。



- 使用中は、火をつけたまま器具を移動させないでください。
火災や、やけどのおそれがあり危険です。



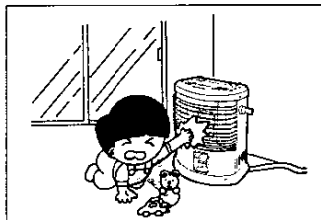
- 器具の中へ物を入れないでください。
器具の中へ物を入れますと、思わぬ事故のもとになります。物を入れないよう、入らないように注意してください。
万一物が入った場合はすぐに器具の外へ出すようにしてください。

特に注意していただきたいこと⑤

やけどのご注意

- ご使用中およびご使用後は、器具本体と排気出口部、放熱部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。

特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



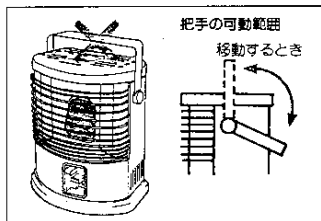
- 器具の上には、なべやかんなどをのせないでください。

お湯がこぼれて火が消えたり、やけどをしたりするおそれがあり危険です。



- ストーブを使用される場合の把手の位置は器具後側へ下げた状態でご使用ください。把手を器具の上側の状態でご使用されますと把手が高温になり、火傷（やけど）の危険があります。

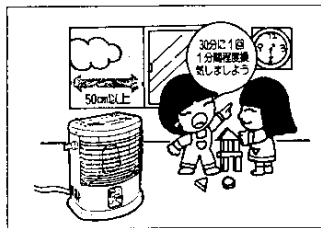
- 把手の取扱いには、十分注意してください。また、手荒なご使用はしないでください。



換気のご注意

- ストーブを使用中は30分に1回1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどしてじゅうぶんな換気をおこなってください。

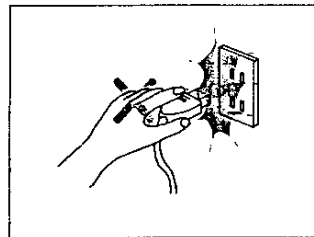
しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。



特に注意していただきたいこと⑥

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉じ、窓や戸を全部あけて、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。



<ご注意>

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。

スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどの火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具栓、お部屋の元栓閉止）してじゅうぶんな点検をお願いします。（故障・異常の見分け方と処置方法については16ページをお読みください。）

日常の点検、手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。（点検・手入れの方法については14ページをお読みください。）
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。

器具の設置

設置前の準備と確認

梱包材料の除去

- ゴム管口のキャップを取りはずしてください。
ゴム管口には輸送、保管時におけるゴミ混入防止のためキャップがついています。取りはずしてご使用ください。
また、シーズンオフなど長期間ご使用にならない時に収納される場合は、ゴム管口にキャップをつけて収納してください。

使用ガスの確認

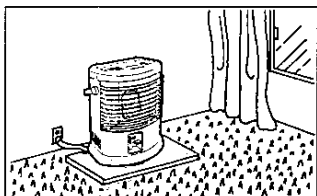
- 器具銘板の表示ガス（ガスグループ）とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

設置上のご注意（設置状態の確認）

- 周囲に可燃物（木製の壁、たななど）のある場合は、じゅうぶん離れているところでご使用ください。

〔詳しくは3ページ「使用場所についてのご注意」の項参照〕

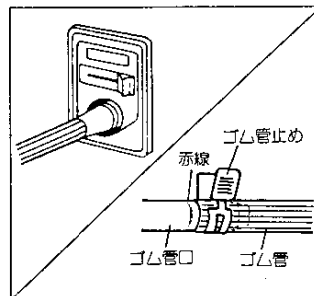
- 毛足の長いじゅうたんの上で使用する場合は、丈夫な不燃性の台にのせて使用してください。



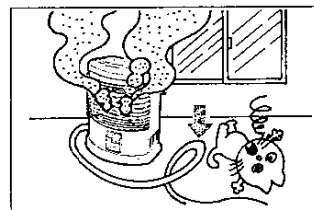
器具の設置②

ゴム管の接続

- ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりととめてください。
9.5mmφ（内径9.5ミリ）のゴム管を使用し、お部屋のガス元栓、器具栓ともゴム管口の赤線まで、じゅうぶん差し込んでゴム管止めでしっかり止めてください。
ゴム管止めでしっかりとめていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。

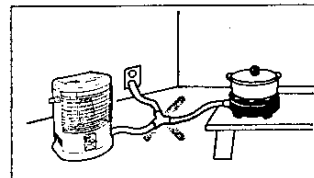


- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短かく（3m以内）、器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。
器具の下を通したり、器具に触れていると、ゴム管が過熱して早く傷んだりして危険です。



- ゴム管の継ぎだしや二又分岐は行わないでください。

- ガスコード（強化型小口径ガスホース）は13A器具のみ使用可能です。



ゴム管のとりかえについて

- ゴム管は良質のものを用い、使用3年位を目安にとりかえてください。
ゴム管が古くなりますと、ガス元栓や器具のゴム管口から抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガス漏れの原因になり危険です。
- ゴム管の器具接続やガス元栓接続に「カチット」を接続すれば接続が簡単に便利になるだけでなく、不十分なゴム管接続によるガス漏れを防ぐことができます。

使用手順

点火前の準備と確認

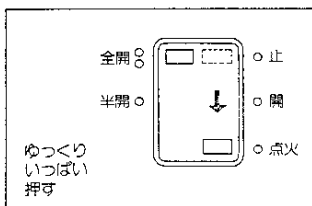
器具周辺の危険物などの点検

- ゴム管が器体に触れたり、危険なところに設置されていないか確認してください。

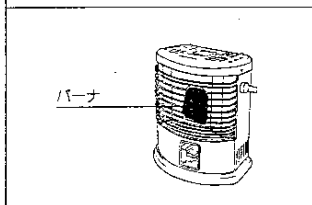
点火前の準備

- 器具栓の「止」を確認し、お部屋のガス元栓を全開にしてください。

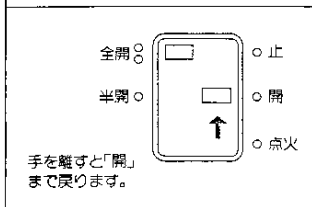
点 火



- ①点火レバーを途中で止めずに「止」の位置から下へ「点火」の位置までゆっくりいっぱい押しと「カチッ」とスパークして点火します。



- ②点火レバーに着火したことを確かめてからそのまま5秒程点火レバーを押しつづけてください。



- ③点火レバーより手を離してからバーナーの着火(バーナー表面が赤熱します)を確かめてください。
- 着火しなかった場合は、点火レバーを「開」の位置から下へいっぱい押し操作を繰り返して行ってください。

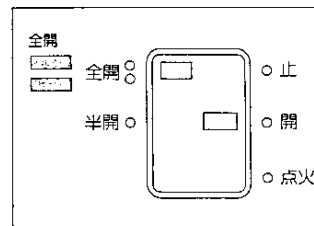
使用手順②

<ご注意>

- 点火の際はストーブに顔を近づけないでください。
- 購入後初めて点火するときや、シーズン初めに点火するときは、ゴム管に空気が入っていて点火しないことがあります。この場合は空気がぬげ点火するまで点火の操作を繰り返して行ってください。
- 点火初期に「プーッ」と音がする場合があります。しばらくすると音はなくなります。
- 点火初期にバーナーの赤熱状態が、上下違う場合がありますが数分程でほぼ同じになります。
- 点火レバーは、5秒程待ち続けた後、急に手を離しますと「止」の位置まで戻ってしまう場合がありますのでゆっくり手を離してください。また、点火レバーを強く押ししたり、足で押さえたりしないでください。

火力切替

この器具は、点火と火力切替のレバーが別々になっています。火力切替の時は左側の「火力切替」レバーを操作して行ってください。

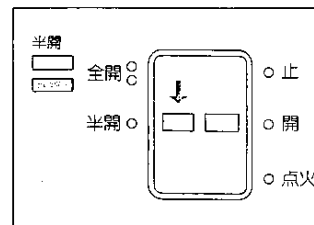


全開でご使用の場合

切替レバーを「全開」の位置へいっぱい上げますと「全開」の状態になります。

<ご注意>

メインバーナーに着火し赤熱するのを確かめてください。



半開でご使用の場合

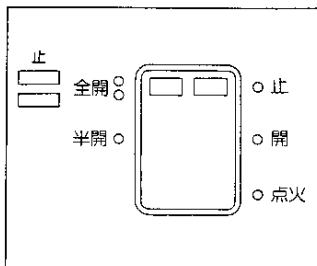
切替レバーを「半開」の位置へいっぱい押し下げますと「半開」の状態になります。

使用手順 ③

空気調節

この器具は各ガスの種類に合わせてあらかじめ空気調節をしてありますから点火したらそのままお使いください。

消火



- 点火レバーを上へいっばい「止」の位置まで完全にもどして消火してください。

<ご注意>

- 必ず火が完全に消えたか確かめてください。
- 消火後すぐにご使用になる場合は、数秒間待ってから点火してください。
- 長時間使用されないとき(就寝時、外出時など)は、器具栓つまみを閉めるだけでなく必ずガス元栓を閉めてください。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

ご使用中にバーナが消火してしまった時は、次の方法ならびに16ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

消火センサー

ご使用中にバーナが消えたときには安全装置が働いて自動的にガスが止まり、生ガスの放出を最少限におさえます。

このような場合は、点火レバーを「止」の位置に一旦戻し、再点火してください。

- 異常な燃え方に気をつけてください。

使用中メインバーナが、赤熱しないでゴーゴーと音をたてて燃える時は異常燃焼しています。

点火レバー「止」の位置までいったん戻し、少し間をおいてもう一度点火操作をしてください。そのまま使用されると器具をいためます。

なお、異常な燃え方がおこなったときや火がつかなくなった時はご使用にならないで(ガス元栓を閉めて)お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

日常の点検・お手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけられたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元栓を閉じ、器具がじゅうぶん冷えてから行ってください。
- 器具内部の部品（ガス通路など）は絶対に分解しないでください。



点 検

- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびお部屋のガス元栓ともゴム管口の赤線までじゅうぶん差し込み、ゴム管止めで止めてありますが。
 - ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
 - ゴム管が古くなって、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
 - 器具の近くに、紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いてありませんか。
 - 空気口にほこりがたまっていますか。

日常の点検・お手入れ②

お 手 入 れ

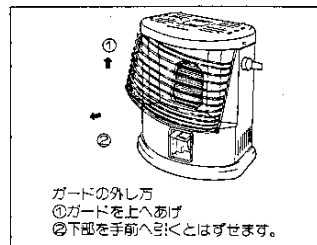
そ
の
つ
と

- 器体外装
やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。

<ご注意>

ベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対にご使用にならないでください。色があせます。

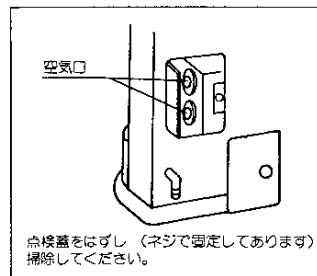
- 反射板
反射板は、ガードをはずしてお手入れしてください。
お手入れを長期間しないとほこりがたまったり、変色したようになりますので欠かさないようにしてください。



ガードの外し方
①ガードを上へあげ
②下部を手前へ引くとはずせます。

と
き
ど
き

- 空気口
シーズン初めのご使用前およびその後一カ月に1回程度、パーナー空気口(空気取り入れ部)にたまったほこりやごみなどを掃除機などで取り除いてください。



点検蓋をはずし（ネジで固定してあります）掃除してください。

<ご注意>

器具内部の部品は調整してありますので触れたり、変えたりしないでください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

原因	現象							処置方法	参照ページ
	点火しない・点火しにくい	点火レバーのり	手を離すと消火する	ガスくさい	着火・火移りしない	爆発的に着火する	使用中に消火した		
お部屋のガス元栓の開け忘れ	○							器具栓を一旦閉じてからお部屋のガス元栓を全開にする	10
お部屋のガス元栓の開き不じゅうぶん	○	○		○	○		○		
ゴム管内に空気が残っている	○			○				ガスが正常に出るまで点火操作を繰り返す	10
ガス圧が適切でない	○			○	○		○	他の器具も同様の場合は点検を依頼する	-
ゴム管の折曲り・つぶれ	○	○		○		○	○	ゴム管をなおす	9
ゴム管のお部屋のガス元栓への差し込み不足	○	○	○	○		○	○	ゴム管をじゅうぶん差し込む	9
ゴム管の差し込み部分の劣化・軟化	○	○	○	○		○	○	ゴム管を交換・先を切りつめる	9
点火レバーの保持時間の不足	○	○						点火ボタンの保持時間を長くする	10
消火センサーが作動		○				○			
点火装置の故障	○							点検・修理を依頼する	-
炎検出部の汚れ		○				○			

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なおご連絡いただくときは、次のことをご知らせください。

(1) 品名……(ガス赤外線ストーブ)


(2) 品番……(例)

(3) 現象……(できるだけ詳しく)

(4) 道順……(できるだけ詳しく)

(N) 43-421 (U)

大阪ガス株式会社 **06**



取付年月日
19 年 月 日

転居される場合

- ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。このガスストーブは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

長期間使用しない場合

15ページの「お手入れ」に従ってお手入れし、ガス通路にほこりが入らないようゴム管口にキャップをつけてビニールカバーをかぶせ、ダンボール箱に入れて湿気やほこりの少ないところへ保管してください。

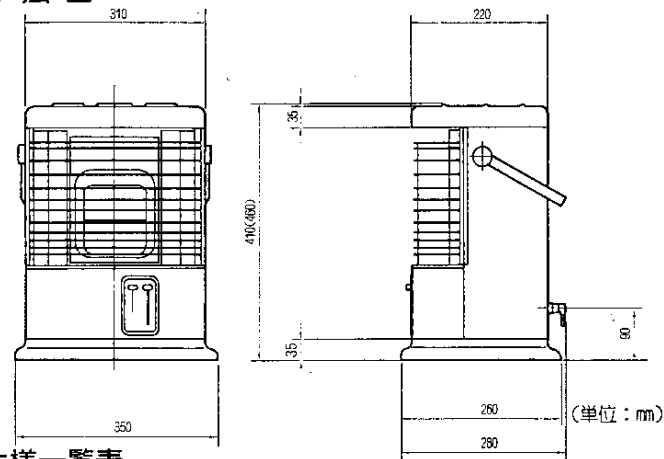
特 長

- 1** このストーブは、セラミックプレート式バーナーを採用しています。放射効率が高く加熱時間が短くてすみ、たいへん経済的です。
- 2** 消火センサー付ですので、万一バーナーの火が消えても安全バルブを閉じて生ガスの放出を最少限におさえます。
- 3** 持ち運びに便利な把手付で移動がたいへん便利です。

寸法図と仕様一覧

()内寸法は43-521/522を示す

寸 法 図



仕様一覧表

品 名		43-421, 43-422	43-521, 43-522
種 類	設置の形態	すえ置き式	
	給排気方式	開放式	
	放熱方式	放射式	
外形寸法	高 丈	410mm	460mm
	幅	350mm	350mm
	奥 行	280mm	280mm
重 量		5.3kg	6.0kg
接 続		9.5mmφガス用ゴム管	
点 火 方 式		圧電点火方式	
暖 房 の 目 や す		4.5畳～7畳	7畳～10畳
安 全 装 置		消火センサー	
都 市 ガ ス グ ル ー プ		1時間当たりのガス消費量	1時間当たりのガス消費量
都市ガス用	6 A	1600kcal/h	2400kcal/h
	6 C	1600kcal/h	2400kcal/h
	13 A	1700kcal/h	2600kcal/h
L P ガ ス 用		0.14kg/h	0.21kg/h